

国道324号(松島道路)道路改築事業

受賞機関 熊本県土木部道路政策課

はじめに

熊本県の西部に位置する天草地域へのアクセスは、昭和41年に完成した天草五橋の架かる国道1本に依存している。海水浴シーズンなどでは各所で渋滞が発生しているほか、自然災害により孤立する恐れがあるなど、地域住民の生活にも多大な影響を与えている。

本県ではこの状況を改善するとともに、県の総合計画「パートナーシップ21くまもと」の主要施策である、熊本都市圏と県内主要都市を半日行動圏として結ぶ「90分構想」実現のため、地域高規格道路「熊本天草幹線道路」の整備を進めている。

事業概要

松島道路は熊本天草幹線道路の初めての開通区間(延長3.3km)である。また、この道路の整備にあたっては、有料道路事業を導入した。

路線名：一般国道324号(松島道路)

事業期間：平成3年4月～平成14年5月

事業費：約217億円(内、有料事業費約43億円)

事業の特徴

松島道路は路線計画において、大幅な距離短縮が図れることや、補償物件も少なく地域社会への影響も少ないことから、現在のルートが選定されたが、そのほとんどが雲仙天草国立公園の特別地域を通過することとなった。また、松島道路の周辺には、日本三大松島の一つに数えられる天草松島や老松が繁



知十ICから知十トンネルを望む



千蔵大橋と西の浦トンネル

り、奇岩が散在する特異な景観と松島の展望で知られ、国の名勝に指定されている千蔵山がある。これらのことから、景観・環境に大きな変化をもたらす切土、盛土の人工斜面の形成を極力避け、延長の3分の2にあたる約2.2kmを橋梁5橋と3箇所トンネルとすることにより、影響を最小限にした。さらに、トンネルの内2箇所については、坑門にコンクリート面の露出が少ない突出型を採用し、付近の景観との調和を図っている。

熊本側の入り口となる合津インターでは、旧国道敷に建設工事で発生した岩を配置して、松島の多島海をイメージした緑地とした。管理事務所の屋根についても、眺望の支障とならないよう、色彩や形状に配慮するなど、周囲との一体化を考えつつ新たな景観の創造を図っている。

受賞賛助会員 (株)安部工業所、(株)有明測量開発社、オリエンタル建設(株)、(株)千代田コンサルタント、(株)東京鐵骨橋梁、日本技術開発(株)、(株)ピーエス三菱、日立造船(株)、(株)水野建設コンサルタント

